

樂典

教育学部 学校教育教員養成課程
(中等教育コース 音楽) 前期日程

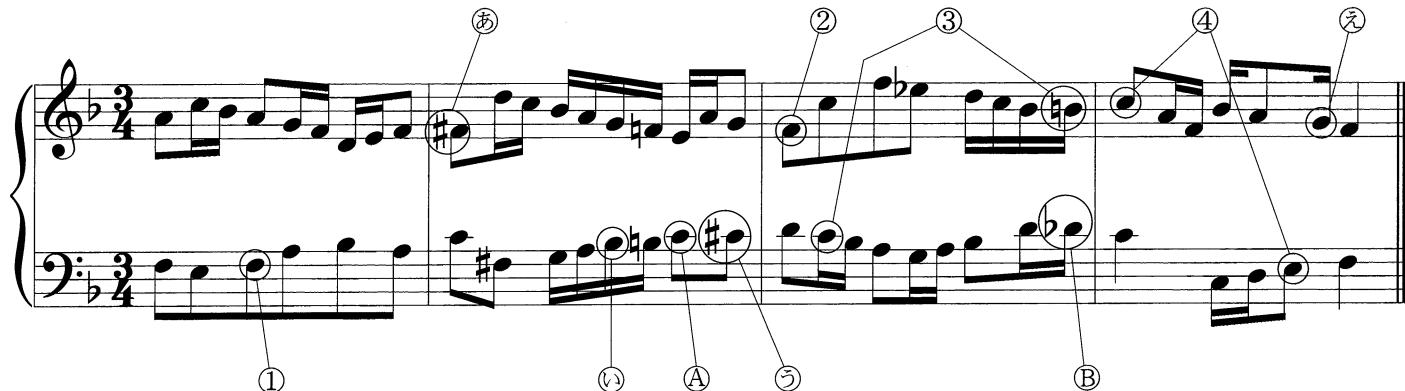
注意事項

1. 「解答始め」の合図があるまでこの冊子は開かないこと。
2. この冊子は表紙を除いて 1 ページである。
3. 「解答始め」の合図があったら、まず、掲示又は板書してある問題冊子ページ数・解答用紙枚数・下書き用紙枚数が、自分に配付された数と合っているか確認し、もし数が合わない場合は手を高く挙げ申し出ること。次に、受験番号・氏名を必ず解答用紙の指定された箇所に記入してから、解答を始めること。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。

注意 受験番号と氏名欄は解答用紙にあります。解答は解答用紙に記入すること。

楽典 問題用紙 (全1枚)

I. 次の楽譜を見て、下の1から5までの各設間に答えなさい。



1. 楽譜中の①, ②について、指定された音を全音符で書きなさい。(高音部譜表または低音部譜表で)

(1) ①の音の短6度上の音

(2) ②の音の減3度下の音

2. 楽譜中の③, ④の音程を答えなさい。複音程の場合は単音程とみなすこと。

例：1オクターブ+長3度の場合は（長3度）と答えること。

3. 楽譜中のⒶ, Ⓑ, Ⓒ, Ⓓの音を基にして、指定された和音の基本形を全音符で書きなさい。

(1), (2)については調号を記入し、短調の場合は和声短音階に基づくこと。

(3), (4)については臨時記号を用いて書きなさい。(高音部譜表または低音部譜表で)

(1) Ⓐの音を導音とする短調の属調のVの和音

(2) Ⓑの音を下属音とする長調の同主調のVIの和音

(3) Ⓒの音を第五音とする減三和音

(4) Ⓓの音を第三音とする短三和音

4. 楽譜中のⒶ, Ⓑの音を基にして、指定された種類の音階を、主音から主音まで1オクターブ、調号を用いず、

臨時記号を用いて全音符で書きなさい。

(1) Ⓑの音を和声短音階第VI音とする調の属音を導音とする旋律短音階上行形

(2) Ⓑの音を音階の第III音とする旋律短音階下行形

5. 上の楽譜を長2度下の調に移調しなさい。(調号を用いて)

II. 次の①～⑥の楽語の意味に最も適する語句を、下の選択肢ア～シより1つずつ選び、記号で答えなさい。

① dolce

② a tempo

③ diminuendo

④ con moto

⑤ comodo

⑥ pesante

ア 正確な速さで

イ もとの速さで

ウ 次第に強く

エ 重々しく

オ 気楽に・適宜に

カ 今までより速く

キ 軽く

ク 柔らかに・愛らしく

ケ 動きをつけて

コ 牧歌ふうに

サ 次第に弱く

シ 常に